



～みんなかがやく 西の子～

# 西の子だより 第12号

三重西小学校 学校通信  
令和4年10月7日(金)



## 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果から(1)

今年4月19日に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。全国の6年生を対象に行うものです。この調査は、子どもたちの学力や学習状況を把握・分析し、その改善を図るとともに、学校における子どもたちへの教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。結果から見てきた本校児童の学力の傾向について概要をお知らせします。

### 【調査結果概要】

この調査の内容は、教科に関する調査(国語, 算数, 理科), 児童の学習・生活習慣などに関する調査(児童質問紙), 学校の取組状況に関する調査(学校質問紙)です。



### 教科に関する調査…本校の平均正答率について

国語は全国平均・県平均を上回る  
理科は全国平均・県平均と同等

算数は県平均と同等で全国平均をわずかに下回る

### 本校の課題



#### 1 記述力(自分の考えをまとめる力…思考力・判断力・表現力の向上に向けて)

自分の考えを持ち、その理由を明確にして、指示された形式・文字数にそって簡潔にまとめることに課題が見られます。また、提示された文章に対する感想や意見を持ち、伝え合うことに慣れていない。

#### 2 算数: データを活用して解答する力

昨年度大きく下回っていた「図形」に関する正答率は大きく伸びましたが、提示されたデータの特徴や傾向を読み取ったり、必要なデータを選択して解答につなげる力に課題が見られます。

#### 3 理科: 生物に関する力

「昆虫であるかどうかを判断する力」を問うなど生物に関する問題において、観察や実験結果を活用して解答することに課題が見られます。

また、実験や観察の結果を用いて自分の考えを持つことや、他者の気づきの視点を取り入れ、分析したり新たな問題を見出したりして、自分の考えを再構築することにも不慣れな様子です。

## 【国語】

朝の授業や日頃の家庭学習において基礎的な言語に関する学習を積み上げている成果があり、言葉の特徴や使い方に係る力は全国と比べて大きく上回っています。また、読む力にも改善が見られます。引き続き、ていねいな基礎学習をしていきます。

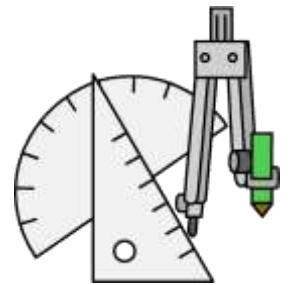
全校で統一した取組を通して「書くこと」への抵抗感は小さくなっていますが、「表現の効果」や「文章に対する感想」を意見文として書くことには苦手感が大きく、正答率が上がりません。「考えをまとめる力」の向上に向け、話し合いの目的や方向性を検討する場面を設定したり、話し合いの展開や内容をふまえて互いの意見を整理して聞き合う経験が必要だと考えます。「書き直せばよりよい文章になる」という肯定的評価が実感できるよう、授業に取り入れて意図的・計画的に指導していきます。

## 【算数】

数量の変化や数学的な関係性を問う問題の解答については、全国平均を上回っています。全学年で言葉の式や数直線図を手だてとして問題解決型の学習をしてきた成果が見られておりと感じています。

昨年度、本校の大きな課題であった「図形」領域ですが、図形の定義や性質・構成を問う問題では苦手さが目立ち、無回答率も上がっています。本校は3年生以上で2学級を4教室に分け、少人数学習熟度を高め、一人ひとりの考え方を指導員がていねいにとらえ、解答しないままに過ぎていかなないようにするとともに、答えのみでなく解答につながる考え方を記述する活動を多く取り入れて細やかな指導をしていきます。

また、プログラミング学習については、楽しんで取り組める学習であるのは間違いありません。ただ、意欲と面白さが先走り、根拠のない予想をもとにプログラムを作成する場面もあります。データの特徴や傾向を読み取る学習を織り交ぜて指導していきます。



## 【理科】

コロナ禍においても、工夫して実験を行えば、実際に使用した経験のある器具についての問題には、概ね理解できており、積極的に解答しようとしています。しかし、感染症予防対策により長時間頭を突き合わせた実験を行うことができないことから、自然の事物や現象から得た事実について自分や他者の気づきを基に分析・解釈する機会が十分ではないと言えます。

よって、観察で得た結果や他者の気づきを分析・解釈の上、自分の考えを持つことに苦手意識があります。「新たな考えを持ち、より妥当な考えをつくりだしたりすることができる力」が、これからの学力として求められていることから、問題を見出す学習活動や発問を意識して位置づける授業となるよう改善したいと考えます。また、観察や実験においては、「差異点と共通点」に着目し、学校で理科を学ぶ楽しさを感じることができるよう、さらには教科そのものに関心を高めていけるよう工夫していきます。

